



メモリアルメッセージ

J R 留萌駅駅長
いけざわ かおる
池澤 薫さん

明治43年11月23日、留萌駅午前6時40分発の列車を留萌町民が出揃い万歳により見送った初列車の運転から100年、その間に45名が駅長を努めて参りました。その歴代の駅長を代表し、これまでご利用頂いたお客様と市民の皆様にご心より感謝を申し上げます、大変ありがとうございました。

今後も留萌駅全職員が「お客様の安全第一」を最重点とし、お客様の立場で真心を込めたサービスに徹し、親しまれ信頼される駅づくりに努力して参りますので、皆様のご利用を社員一同お待ち申し上げます。

1910年(明治43年)の開通以来、石炭や農林水産物の輸送や地域住民の交通手段となって活躍してきた「留萌本線」が、今年、開通100周年の大きな節目を迎えます。これまでの歴史を振り返るとともに、その業績を称えるため、留萌市民を代表して留萌本線に縁のある方々にメモリアルメッセージをお寄せ頂きました。今回、寄稿していただいた4人の方とともに、次の100年に向けて新たな歴史を築いていきましょう！



開通式当日の留萌駅

留萌本線開通100周年記念事業

①沿線グルメ開発事業

沿線5市町の特産品を使い、記念の沿線グルメを開発します。

②思い出の留萌本線事業

留萌本線の歴史を次世代に伝えるため、沿線各市町や道内外に広く呼びかけ、2市3町の駅(駅周辺)や町並みを写した昔の写真を募集し、巡回展示などを行います。

③シンポジウム開催事業

開通記念日である11月23日(火)に留萌本線開通100周年記念のフォーラム(深川市)を開催します。

④沿線観光PR事業(臨時列車運行事業)

観光イベント情報のPRのほか、記念の臨時列車を運行します。

問 市・経済港湾課 ☎ 42・1840



メモリアルメッセージ

留萌鮮魚店店主
くしい ときお
榎井藤喜雄さん

留 萌発展の基礎を築いた留萌本線の開通100周年大変おめでとうございます。

私は鮮魚店を営んでいることから、市場のある留萌港の様子を長年見てきましたが、かつては岸壁まで延びた「西留萌」と呼ばれた線路があり、貨物の運搬に使用されていました。*石炭ローダーがなくなったことや、公共交通が鉄道からバスの時代になったことに寂しさを感じていますが、これからも利用者の皆さんを安全に目的地に運ぶ留萌本線の歴史が末永く続いてほしいと思います。

お・め・で・と・う！ 留萌本線 開通 周年



メモリアルメッセージ

留萌商工会議所業務課総務係
むらやま あきら
村山 慧星さん

こ の度は留萌本線開通100周年本当におめでとうございます。

私は、高校生のときにクラスメイト5人で、駅前にある観光案内板を作成するために何度か駅には訪れていましたが、今回、留萌本線が開通して100年という長い歴史があると伺ったときには驚くとともに、一留萌市民としてもとても嬉しい事だと思いました。これからも市民の交通手段として利用されていき「留萌本線開通200周年」になるまで頑張ってください。

留萌本線の歴史

留萌本線(当時の名称は留萌線)は、明治40年2月に着工してから、約4年の歳月をかけて完成し、明治43年11月23日に深川-留萌間が開通したことが始まりです。

留萌町民(現留萌市民)にとって長年の悲願であった留萌線開通式に一番列車が到着する際には、留萌町民が正装して出迎え、汽笛を鳴らしながら走る汽車の雄姿に拍手を送ったり、万歳を唱えたりしました。また、家々には、国旗が掲げられ、夜になると提灯を軒につるして祝ったといわれています。

留萌本線が完成するまでには、第一次世界大戦の影響により資材が高騰したことから、事業が休止するという事態に見舞われ、計画が順調に進んだわけではありませんでした。

それらの困難を経て、大正10年1月には留萌-増毛間まで「増毛線」として延長され、留萌本線全線が開通し、港湾とともに留萌発展の礎を築くことになりました。

交通体系が変化した今日においても、100年の歴史を背負いながら、住民や観光客の足となって列車は留萌本線を走り続けているのです。

懐かしの一枚



NHKの朝の連続テレビ小説「すずらん」で話題を集めたSLすずらん号

【参考文献】

「新留萌市史」 留萌市
「留萌いまむかし」 福土廣志著
「北海道鉄道駅大図鑑」 本久公洋著



メモリアルメッセージ

留萌SL保存会会長
すずき まさる
鈴木 優さん

開 通100周年を迎えた留萌本線にお祝いを申し上げます。

私は、昭和31年から四半世紀に渡り、留萌機関区の機関士としてSLを運行していたため、退職後にNHKの朝の連続テレビ小説「すずらん」がきっかけとなり、SLすずらん号が運行し、全国から留萌にお客様が訪れた際には大変嬉しかったです。最近では自家用車に乗る方が多く、鉄道離れも進んでいるようですが、これからも留萌本線が末永く愛されることを願っています。

※「石炭ローダー」…港に運ばれた石炭を船積みするための機械。